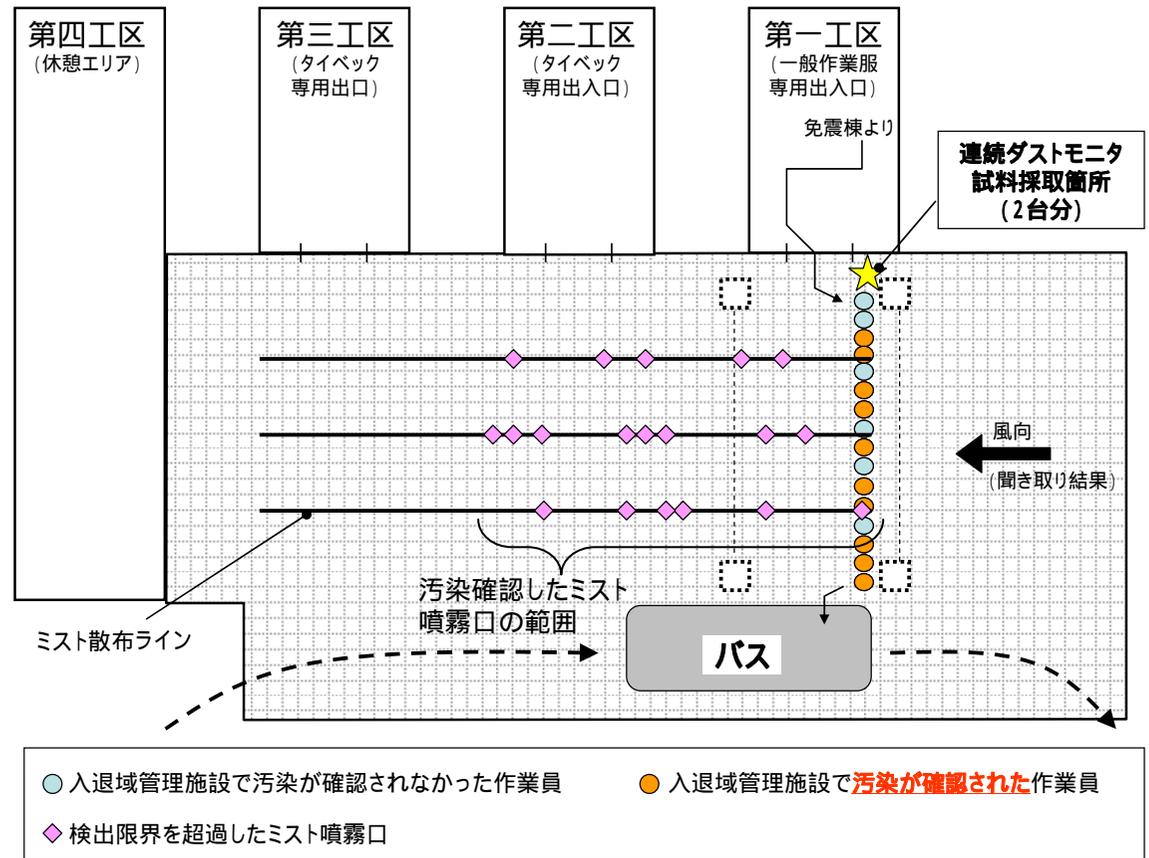


# 福島第一原子力発電所 免震重要棟前でのバス待ち時における 身体汚染確認者の状況について

< 参考資料 >  
平成25年8月14日  
東京電力株式会社

8月12日の連続ダストモニタ警報発生、および身体汚染者10名発生に関して、免震重要棟前で構内循環バスを待っていた作業員10名(当社社員)の状況は、以下のとおり。  
当該10名は、免震重要棟内で汚染確認を行っているため、バス待ち以降の状況について調査を進める。

- 身体汚染者の汚染部位  
5名が首から上のみ  
1名が首から上を含む上半身  
3名が上半身  
1名が全身(口鼻まわりには汚染なし)
- 装備：一般作業服 + 靴カバー + 綿手袋 + サージカルマスクを着用。
- 身体汚染者10名は他の同乗者6名とともに、12:35発の入退域管理棟へ向かうバスに乗るために、12:25～12:30にかけて、免震重要棟第一工区前の南側1列になって順次並んでいた。(汚染のなかった同乗者6名も同様)
- 身体汚染者の立ち位置は、バス停から1～3,5・6,8,10・11,13・14番目に並んでいた。(16名が並んでいたが、他の6名については除染を行う社内運用管理値(4Bq/cm<sup>2</sup>)以下だった。)



バス待ち時、身体汚染確認者と連続ダストモニタの配置

管理対象区域からの退出基準は40Bq/cm<sup>2</sup>であるが、社内管理として4Bq/cm<sup>2</sup>を超える身体汚染が発生した場合には除染を行う運用としている

## 免震重要棟前ダスト濃度上昇原因の調査状況について

発生要因(推定)	調査内容	状況
ミスト中の放射性物質の混入	ミスト水源4箇所の測定	4箇所全てで、検出限界値未満
	ミストシャワー噴霧口の汚染	スミア採取54箇所の結果BG～490cpmの範囲であり、ダスト濃度上昇に至るまでの汚染ではない
環境中のダスト濃度上昇	ダスト濃度上昇時期における周辺作業の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免震重要棟前で作業が行われていないことを確認</li> <li>・駐車場2箇所の測定で、ダスト濃度は上昇していない</li> </ul>
	プラント起因による上昇	プラントパラメータ・他の連続ダストモニタなどに有意な変動なし
	天候等によるダストの巻き上げ	バス待ち作業からのヒアリングにおいて、異常な突風などは発生していないことを確認
	通行車両によるダスト濃度の上昇	(今後予定) 車両通行時のダスト濃度の上昇の有無を確認

## 8月12日の公表内容の一部訂正について

---

8月12日に発生した当社社員10名の身体汚染発生時のお知らせ内容において、一部訂正しております。内容は以下の通りです。

訂正前：「身体汚染が確認された10名は、頭部・顔面が最大10Bq/cm<sup>2</sup>で汚染している」  
現場の記録を確認したところ、最大19Bq/cm<sup>2</sup>であることを確認。

(8/12訂正お知らせ済み)

訂正前：「身体汚染者は拭き取り等を行い、身体汚染レベルが社内運用管理値  
(4Bq/cm<sup>2</sup>)以下であることを確認」

身体汚染レベルがスクリーニングレベル(40Bq/cm<sup>2</sup>)を下回っていることを確認。  
なお、拭き取り後の10名の最大汚染レベルは6.9Bq/cm<sup>2</sup>であったことを確認。

管理対象区域からの退出基準は40Bq/cm<sup>2</sup>であるが、社内管理として4Bq/cm<sup>2</sup>を超える身体汚染が発生した場合には除染を行う運用としている。